



《教育目標》
みらいにはばたく さくらの子
おもいあい まなびあい きたえあい

子どもたちの心の温かさ

校長



2/25（金）に6年生を送る会（6送会）が行われました。感染症対策のため保護者の参観を控えていただきました。ご協力に感謝申し上げます。

子どもたちは一斉に集まることはせず、5、6年生は小ホール、他の学年は教室で小ホールでの様子を見る、必要なときに小ホールへ行くという、オンラインと集合を合わせたハイブリッド型の6送会としました。階段や玄関、小ホールに1～5年生がきれいに飾り付けを行い、6年生への感謝の気持ちがあらわれていました。

まずは、2年生が6年生と写真のように一緒に入場。6年生一人一人の良さを発表しました。次は、5年生が6年生の良いところをスライドで紹介。その次は、3年生が6年生にかかわるクイズを披露。ここまでは、映像が中心でした。

次は、1年生が王冠をもって小ホールに登場。写真のように6年生一人一人に王冠をかぶせ、さくら班からのメッセージを渡しました。その次は、6年生から「6年生の1日」というありがとう動画。6年生が撮影、編集したそうです。その後は、5年生から「6年間の思い出のスライドショー」。猿沢小、塩野町小の入学時から最近までの思い出を振り返りました。最後は、4年生が6年生をくす玉でお祝い。写真のように6年生一人一人にくす玉を割ってもらいました。

本当に素晴らしい6送会でした。子どもたち一人一人が、感謝の気持ちを伝えようとするその思いが伝わってきました。また、5年生が作成した思い出のスライドショーの視聴後、6年生だけでなく5年生で涙している子どもがいました。6年生への思いが感じられ、心を動かされました。

1～5年生が一生懸命取り組んでくれたのは、6年生が素晴らしかったからです。「助けてくれた6年生に感謝の思いを伝えよう」「6年生がいなくなると寂しいな」そんな思いを抱かせてくれたのですから。また、6年生は、1年生からもらった王冠を下校時に教室からバスの中までかぶっていたそうです。6年生は下学年の思いを受け取ってくれたのです。在校生もきっと喜んでくれたことでしょう。

また、5年生の6送会の企画、運営も本当に立派でした。あいさつ、進行の段取りの良さなど、最高学年に向けての準備が着々とできつつあります。これも、嬉しいことでした。そして、すでに「5年生プロジェクト」を始動し、最高学年に向け準備を進めています。頼もしい限りです。

さくら小の子どもたちの心の温かさ、素晴らしさを改めて感じた一日となりました。